

大学病院

国産初の手術支援ロボット「ヒノトリ」を導入 ～産科婦人科では世界で初めての手術に成功

当院は神戸市の株式会社メディカロイドが開発した国産初の手術支援ロボット「ヒノトリ」を導入しました。コンパクトでオペレーションアームが滑らかに動くためスムーズな手術が期待できます。8月に泌尿器科や産科婦人科で使用を開始し、下部消化管外科や上部消化管外科でも導入。今後は肝・胆・膵外科や呼吸器外科での導入を予定しています。

産科婦人科は、世界で初めてヒノトリによる放射線治療後の再発子宮頸がんに対する広汎全摘手術および、子宮体がんに対する傍大動脈リンパ節(PAN)郭清術に成功しました。詳しくはホームページをご確認ください。



学校法人

阪上常務理事が令和6年度兵庫県功労者表彰を受賞

本法人の常務理事である阪上 雅史(病院事業管理者、前病院長)が、医療の普及発展に尽力し、県民の健康増進に貢献したとして、兵庫県知事から令和6年度兵庫県功労者表彰を受けました。この表彰は県政の発展や公共の福祉増進に貢献した者、または県民の模範となった者を対象としています。阪上常務理事は、22部門のうち「健康功労」の部門での受賞となりました。これを受け、11月には兵庫県医師会から功労会員としても表彰されました。



大学病院

西宮本院で自衛総合消防訓練を実施

2024年10月22日、兵庫医科大学病院で自衛総合消防訓練を実施しました。鳴尾消防署協力のもと、深夜帯に1号館11階西病棟で出火したとの想定で発見から通報、初期消火、避難誘導について確認を行い、鳴尾消防署員と池内病院長による講評がありました。また、はしご車による救出訓練や消火器の使用方法に関する講習もあわせて行い、教職員の防火・防災意識の向上につながりました。



大学病院

「2024年度医師臨床研修マッチング」で1位に飛躍

医師臨床研修マッチング協議会によって、研修希望者と研修プログラム(研修先医療機関)とを効率かつ透明性を確保して組み合わせる「2024年度医師臨床研修マッチング」の最終結果が公表され、当院は募集定員に対し100%のマッチ者数となりました。またこの募集定員や充足率などを総合的にランキング化したものでは1位タイとなり、臨床研修医採用試験受験者数も当院では過去最高の232名となりました。

医療機関名	募集定員(名)	マッチ者数(名)	充足率(%)	自大学比率(%)
兵庫医科大学病院	55	55	100	41.8

西宮
キャンパス

本学から2名の医師が受賞 ～令和6年度兵庫県医師会 医学研究賞

呼吸器・血液内科学 南 俊行 准教授と糖尿病内分泌・免疫内科学 橋本 哲平 講師が医学研究分野で優れた研究成果を挙げた医師として兵庫県医師会医学研究賞を受賞し、10月20日に開催された第76回兵庫県医師会医学会で表彰式が執り行われました。



南 俊行 准教授(呼吸器・血液内科学)
研究課題:悪性胸膜中皮腫に対し抗PD-1抗体と血管新生阻害薬の併用療法は腫瘍微小環境の制御を介して相乗効果を発揮する



橋本 哲平 講師(糖尿病内分泌・免疫内科学)
研究課題:関節リウマチとcell free DNA



大学病院

こうしえんテロ対策パートナーシップ実働訓練に参加

2024年10月24日、大阪・関西万博などの国際イベントに備え、兵庫県警察と西宮消防局の企画による大規模テロを想定した合同訓練が西宮市の商業施設にて行われ、当院の災害派遣医療チームDMATが参加しました。訓練では、「イベント会場で不審な男が袋に入った液体をまき負傷者がでた」という想定で行われ、通報を受けた消防や機動隊が液体の除染作業を、その後当院のDMATが救護者に優先順位をつけるトリアージ、そして救護活動を行うなど、各機関が連携して様々な手順を確認しました。





むし歯菌の表面タンパクが指定難病・IgA 腎症発症に関与する可能性が明らかに!～医科歯科連携で根本治療法の確立を目指す～

総合診療内科学 長澤 康行 准教授は、岡山大学、大阪大学、聖隷浜松病院、広島大学らと共同で、指定難病の一つであるIgA 腎症の動物モデルを用いた研究において、むし歯菌(ミュータンスレンサ球菌)が表出するタンパク質の1つがその発症メカニズムに関与している可能性を明らかにしました。今回発症メカニズムの一端が明らかになったことで、根本治療法の確立につながるものが期待されます。本研究の成果は英国科学誌「Communications Biology」に掲載されました。詳しくはホームページにてご確認ください。

論題: Contribution of collagen-binding protein Cnm of Streptococcus mutans to induced IgA nephropathy-like nephritis in rats



慢性肝疾患の成因がウイルス性から非ウイルス性へと進行している実態を全国調査で明らかに

消化器内科学(肝・胆・膵内科)榎本 平之 教授らは日本肝臓学会で5年ごとに行っている肝硬変の成因に関する全国調査を2018年に引き続き2023年にも実施しました。また前回の全国調査以降も日本におけるウイルス性肝炎に起因する肝硬変が減少し、非ウイルス性肝硬変が増加し続けている実態を明らかにしました。本研究は日本肝臓学会の英文誌「Hepatology Research」誌に掲載されました。詳しくはホームページにてご確認ください。

論題: Etiological changes of liver cirrhosis and hepatocellular carcinoma-complicated liver cirrhosis in Japan: Updated nationwide survey from 2018 to 2021



リキッドバイオプシーが大腸がん肝転移術後の補助療法実施の判断に有用であることを確認

消化器外科学(下部消化管外科)の片岡 幸三 講師、国立研究開発法人国立がん研究センター東病院の吉野 孝之 副院長らの研究グループは、CIRCULATE-Japan(サーキュレートジャパン)における世界最大規模の前向き研究である大腸がん肝転移手術例によるサブ解析においてリキッドバイオプシーが大腸がん肝転移術後の補助療法実施の判断に有用であることを確認しました。詳しくはホームページにてご確認ください。

論題: Survival benefit of adjuvant chemotherapy based on molecular residual disease detection in resected colorectal liver metastases: Subgroup analysis from CIRCULATEJapan GALAXY



島津製作所と潰瘍性大腸炎の新たな評価法を開発～液体クロマトグラフ質量分析計での色素剤の血中濃度から病態を定量評価～

消化器内科学 福井 広一 教授の研究グループは株式会社島津製作所と液体クロマトグラフ質量分析計(LC-MS)*を活用し、色素剤インジゴカルミンの血中濃度から、潰瘍性大腸炎や過敏性腸疾患症候群の病態の指標である腸管粘膜透過性を評価する手法を開発しました。詳しくはホームページにてご確認ください。

※液体クロマトグラフ質量分析計: 移動相が液体である液体クロマトグラフ(LC)と質量分析計(MS)を接続した分析装置。



前立腺がんの予後を左右する因子の同定に成功、ホルモン療法の抗がん作用長期化への応用にも期待

薬学部 宮本 朋佳 助教は近畿大学、関西医科大学、府中病院と共同で前立腺がんの診断を受け遠隔転移のない患者のうち、治療効果の高いホルモン療法を受けた人のデータを抽出し、ホルモン療法の効果に影響を与える因子を解析しました。その結果、ホルモン療法開始後に糖尿病または高血圧症を発症した患者では前立腺がんが再発しやすくなること、発症前から脂質異常症の治療薬を服用していた患者ではホルモン療法の有効性が持続し、前立腺がんが再発しにくくなることを見出し、国際学術雑誌「Scientific Reports」にオンライン掲載されました。詳しくはホームページにてご確認ください。

論題: Opposing impact of hypertension/diabetes following hormone therapy initiation and preexisting statins on castration resistant progression of nonmetastatic prostate cancer: a multicenter study



兵庫医科大学合同研究発表会を開催

11月11日と12日の2日間、兵庫医科大学合同研究発表会を開催しました。このイベントでは、学部を超えた研究シーズや研究材料、ニーズの共有と意見交換を通じて、研究者同士の連携を強化することを目指しています。ポスター掲示は2日間にわたり行われ、2日目の午後にはフラッシュトークとポスターセッションが行われました。多くの研究者や教職員が参加し、活発な議論が交わされました。



2024年度 白衣授与式を挙行

2024年10月19日、兵庫医科大学 平成記念会館にて「2024年度 兵庫医科大学 白衣授与式」を挙行了しました。白衣授与式は4年次の学生115名に対して行われ、廣田医学部長から開会の辞の後、鈴木学長、池内病院長から挨拶が述べられました。その後学生は12名の教員から白衣を授与され、代表の寺澤 拓華さんとともに「ヒポクラテスの誓詞」を教職員・学生一同で唱和し、最後に篠原臨床教育統括センター長から閉会の辞が述べられました。学生は、10月21日からのオリエンテーション臨床実習を経て、11月から臨床実習に臨んでいます。





トウルク応用科学大学からの教員訪問と研究交流

2024年9月17日から9月20日、相互交流を目的として協定を結んでいるトウルク応用科学大学(フィンランド共和国)のHealth and Well-Being学部看護学科から、5名の教員が高齢者ケア技術の視察と研究交流を目的として来学しました。滞在中、看護学部およびリハビリテーション学部教員との研究ディスカッション、日本やフィンランドの高齢者ケアやシミュレーション教育に関する講義を行い、篠山キャンパスなど、地域の高齢者関連施設や研究施設を視察しました。2025年3月にはオンラインによる看護学研究科での学生交流、10月には看護学部およびリハビリテーション学部4年生の同大学での研修を予定しています。



神戸マラソン2024に関するボランティア活動に参加

2024年11月14日、神戸マラソンシリーズイベントとして「ポーアイをきれいにしよう!クリーン作戦」を開催しました。本学、神戸学院大学、神戸女子大学、神戸女子短期大学の学生および教職員184名が参加し、コースとなっているポートライナー みなとじま(キャンパス前)駅から市民広場駅までの道路沿いにてごみ拾いを行いました。また神戸マラソン当日には本学学生39名がボランティアとして参加し、救護活動や神戸大橋上でのランナー応援、サポートなどを行いました。約2万人のランナーが神戸の街並みを駆け抜けました。



2024年度 西宮キャンパス大学祭「第53回 醫聖祭」を開催

2024年11月9日～10日の2日間に渡り、第53回兵庫医科大学大学祭「醫聖祭」を開催しました。今回は5年ぶりに模擬店が復活するとともに、東京大学 福島 智 教授の講演会や芸人によるお笑いライブ、豪華景品のビンゴ大会、室内楽団や軽音楽部の演奏会、マジック研究部やダンス部のパフォーマンス等が実施され、新しい時代の先駆けを担う大学祭となりました。



令和6年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭を挙行

2023年10月1日から2024年9月30日までの間に、医学教育・研究並びに医療の向上のため、本学にその身をご献体いただきました方々の御霊に深く感謝し、ご冥福をお祈りすることを目的に、2024年10月15日に「令和6年度兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭」を挙行了しました。当日はご遺族をはじめ、学生や教職員など合わせて約500名が参列し、90柱の御霊に対して黙祷を捧げた後、学長・病院長による慰霊の詞、学生代表による謝意の詞が述べられました。その後、参列者による献花を行いました。



2024年度 神戸キャンパス大学祭「第16回 海梟祭」を開催

2024年10月19日、20日の2日間、神戸キャンパスにおいて、第16回大学祭「海梟祭」を開催しました。テーマは「NO FESTIVAL NO LIFE」。メインステージでは、歌うまコンテストやヒーローショー、オクタホールでは、謎解きクリエイターの松丸 亮吾さんによるトークショーを開催しました。2日間で約1,500名が来場し、盛況のうちに終了しました。



ポーアイ4大学連携事業 看護学部公開講座を開催

看護学部 笹川 寿美 准教授が「～あわてず救急車をよべますか?～倒れたひとを見つけたときに備えましょう」を講演しました。急病人を発見した際の救急車の呼び方から救急車が到着するまでの対応方法や実際にAEDの使い方も学び、高齢者同士で支え合う地域が増えていく中でどのような助け合いができるかについて考えるきっかけとなりました。





兵庫医科大学 学術賞受賞者が決定

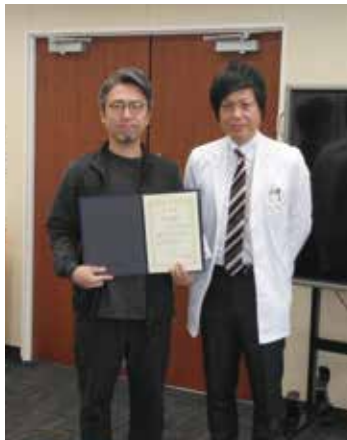
研究の奨励を目的とし、国際的な評価が高い研究を行った若手研究者に対し学術賞(教員・大学院生)を授与します。2023年度の受賞者は下の通りです。

■学術賞(教員)

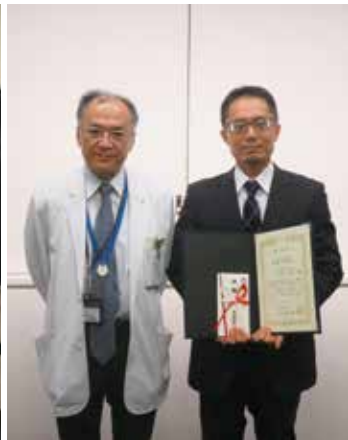


古賀 啓祐 助教
(生理学神経生理部門)

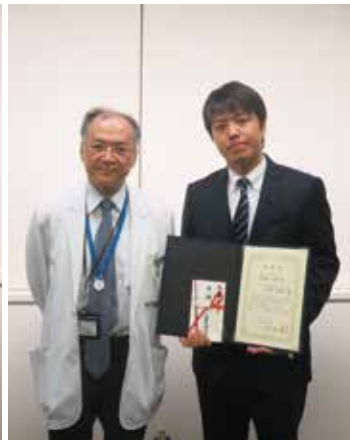
■学術賞(大学院生)



松沢 良太 講師
(リハビリテーション学部理学療法学科)



寺本 昌弘 さん
(医学研究科 医科学専攻 器官・代謝制御系 血液病学)



平野 佳伸 さん
(医学研究科 医科学専攻 高次神経制御系 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)



第39～41回「阪神沿線健康講座」を開催

10月9日(於:大阪梅田ツインタワーズ・サウス)、27日(於:平成記念会館)に、阪神電気鉄道株式会社と共催で阪神沿線健康講座を開催しました。今回は、当院に新たに開設した肥満症センターの折野 芳香 管理栄養士、角谷 学 講師、倉橋 康典 講師による「メタボリックドミノをストップ!!」や、アレルギー・リウマチ内科の田村 誠朗 助教による「魚でアレルギー?アニサキスアレルギー?」、呼吸器内科の藤本 大智 講師による「劇的進化!肺癌治療の最前線」をテーマに講演を行いました。各講座ともに多くの方が受講しました。



全国建築審査会協議会より本学教員が表彰

看護学部 療養支援看護学 神崎 初美 教授が第71回全国建築審査会長会議にて長年の建築行政の推進に多大な貢献をしたとしてその功績を表彰されました。また、2024年11月の明石市市報に市の自治行政の復興発展に貢献した表彰者(自治功労の部門)として、掲載されました。



法人からのお知らせ

◆兵庫医科大学 開学50周年記念事業募金 状況報告

「兵庫医科大学開学50周年記念事業」のための募金活動を開始し、教職員・名誉教授の方々をはじめとして、後援会(保護者)、同窓会(緑樹会、海鳥会)、企業等法人、関連病院など幅広い方々から温かいお申し込みを賜り、厚く御礼申し上げます。ご協力賜りました方々のご芳名を掲載させていただき、改めて感謝の意を表したいと存じます。

～2024年10月31日						
区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	228	867,350,000円	648	318,058,888円	876	1,185,408,888円
入金	228	867,350,000円	648	317,083,888円	876	1,184,433,888円

寄付申込者ご芳名・法人名一覧(順不同)

2024年9月1日 ～2024年10月31日

企業等法人(4法人)

- ご芳名のみ(3法人)
株式会社エイチ・アイ 様
株式会社共英メソナ 様
有限会社宝塚新樹園 様
(匿名1法人)

その他個人(4名)

- ご芳名・金額記載(1名)
林 孝司 様 70,000円
- ご芳名のみ(1名)
新田 博文 様
(匿名2名)

教職員等(2名)

- 匿名2名

◆人事情報 役職者及び主任教授・教授の就任挨拶をご紹介します



兵庫医科大学
医学部 医療統計学

大門 貴志 主任教授 (2024年9月就任)

このたび、医療統計学講座の主任教授を拝命いたしました。私は1998年に大阪大学を卒業後、同大学大学院基礎工学研究科情報数理系専攻統計数理講座の修士・博士課程を修了し、先端医療振興財団臨床研究情報センター研究員、静岡県立大学大学院薬学研究院医薬品情報解析学講座講師、大阪大学附属病院未来医療センター特任講師を経て生物統計学の研鑽を積み、2008年に本学医学部数学教室講師として着任いたしました。2014年に本学に医療統計学教室を新たに設置いただくに伴い、同教室を主宰すべく准教授を経て教授として生物統計学の教育と研究に携わってまいりました。また、本院の臨床研究支援センターの設立に伴い、副センター長として諸先生方とともに本学の臨床研究の基盤整備と推進に尽力してまいりました。これまで多くの方々から賜ったご恩に報いるべく、本学のさらなる発展のためにより一層の精進を重ねてまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



兵庫医科大学
医学部 医学教育学

蓮池 由起子 教育教授 (2024年10月就任)

このたび、医学教育学講座の教育教授を拝命いたしました。私は1991年に本学を卒業し、虎の門病院での研修、本学の大学院で腎臓病学の研究に従事、大阪大学生化学講座への出向のあと、本学の内科学 腎透析内科において腎臓・透析領域の診療や研究、教育に取り組んできました。2019年に医学教育センターへ異動、2022年に医学教育センター長を拝命しました。本学でこれまでに築かれてきた優れた教育体制を引き継ぎながらも、未来の医学教育を見据えた改革を進めていく所存です。本学の発展のために、また私が本学でいただいた大きな恩恵を後進の育成という形で少しでも報いるために、さらに質の高い教育の実践を目指していきます。今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

▶ 海臈会から学生会へ寄贈



神戸キャンパス同窓会 海臈会から、兵庫医科大学 学生会に除菌シート300個が寄贈されました。「学生になにかできることはないか」と学生生活の充実化とその支援を目的に、海臈会から在学生へアンケートを実施し多くの要望が集まりました。寄贈された除菌シートはレストランなどに設置され、活用される予定です。

各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

▶ 大腸カメラ検査のための 前処置スペースを拡充しました



大腸カメラ検査は大腸がん等を早期発見・早期治療するために非常に重要ですが、検査前の準備も含め、不安な点も多いかと思います。そのような不安を一つでも解消するため、前処置薬を飲むことのできるスペースを拡充しました。

初めて検査を受けられる方をはじめ、検査前にご自宅でお薬を飲み、大腸の中をキレイにしてから電車等でご来院されることに不安をお持ちの方にも安心して検査を受けていただけます。

各キャンパスの日常やイベントにまつわる話題を紹介します。

▶ ささやま医療センターで書道展を開催



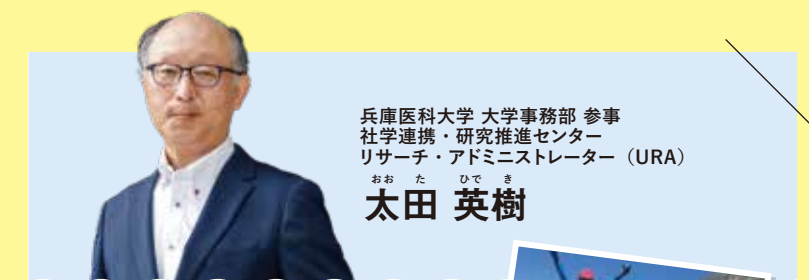
2024年10月8日～10月23日、篠山キャンパスにて日々ボランティア活動をしていただいているボランティア団体「ささゆり」主催の書道展が開催されました。

ささやま医療センターの正面玄関ホールには様々な作品が展示され、来院された方々にも楽しんでいただきました。

わたしを EMPOWER するもの

Vol.3

医療を通じて人を、そして社会をEMPOWERし続ける本法人の職員たち。このコーナーでは、そんな職員たちにとって欠かせないものを1つご紹介。特集「OUR CREW」で登場した太田さんにお話を伺いました。そんな太田さんを支えるものとは…？



兵庫医科大学 大学事務部 参事
社会学連携・研究推進センター
リサーチ・アドミニストレーター（URA）
おお た ひで き
太田 英樹

自然の中で過ごす

ワークライフバランスを大切に
自然に触れてリフレッシュし、環境作りに活かす



時間を見つけて、山登りや釣り、キャンプに出かけます。そんな中で友人と他愛もないことを話したり、過酷な山道を登り切った達成感やその景色、途中で出会う自然の数々を写真におさめることも楽しみの一つです。そして自然に帰ってリフレッシュすると新たな気持ちで仕事に向かうことができます。URAには、研究支援だけでなく、研究者や関連する人たちが働きやすい環境を整えることが求められます。仕事も遊びもバランスよく楽しんで、研究の活性化のための環境づくりに役立てていきたいと思います。

OUR CREW はP11へ